

職 場 環 境 の 実 態 調 査

結 果 報 告

回 答 事 業 所 数 57社

	男 性	女 性
従 業 員 数	581名	128名
従業員の平均年齢	44.75才	42.36才

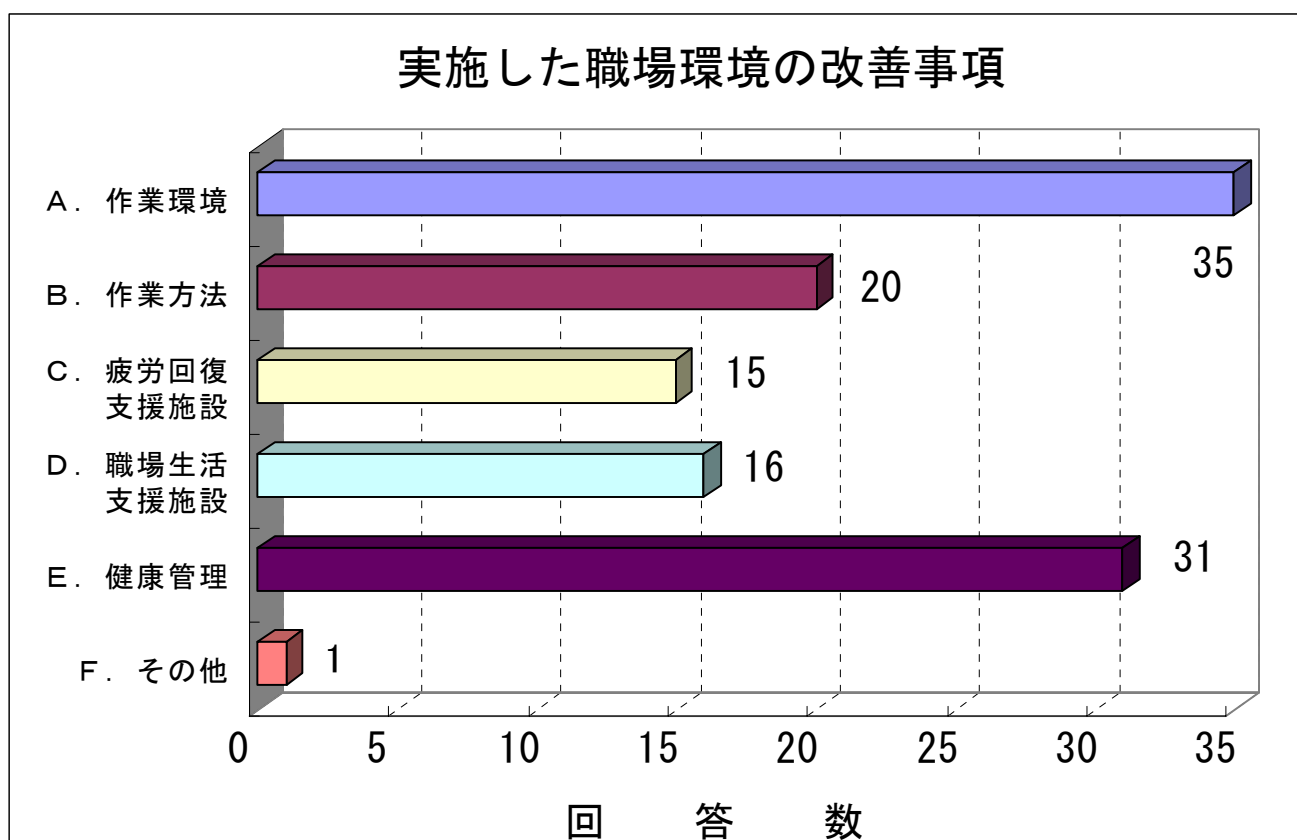
回答事業所が全く同じではないが、初年度調査と平均年齢について比較してみると、今回の調査が、男性0.45才、女性0.35才高齢化していることになるが、約2年6ヶ月の経過と改正高年齢者雇用安定法の施行等の流れの中にあっては、当然の数値となっているといえよう。

1. 貴社が実施した職場環境の改善事項に○印を付けてください。(複数回答可)

	結果	※1参考
A. 作業環境の改善。(暑さ・寒さ、照度、ほこり、騒音等の改善)	35	35
B. 作業方法の改善。 (自動化による作業負担軽減、緊張緩和、作業姿勢等の改善)	20	19
C. 疲労回復支援施設の改善。(相談室、休憩室、シャワー室等)	15	6
D. 職場生活支援施設の改善。 (洗面所、トイレ、更衣室、食堂、給湯設備、談話室等)	16	9
E. 健康管理の改善。(定期健康診断、労働衛生教育等)	31	8
F. その他(具体的に記入して下さい) ※2	1	1

※1 参考：初年度実施した調査(最も必要と考えている職場環境の改善)

※2 ISO9001取得

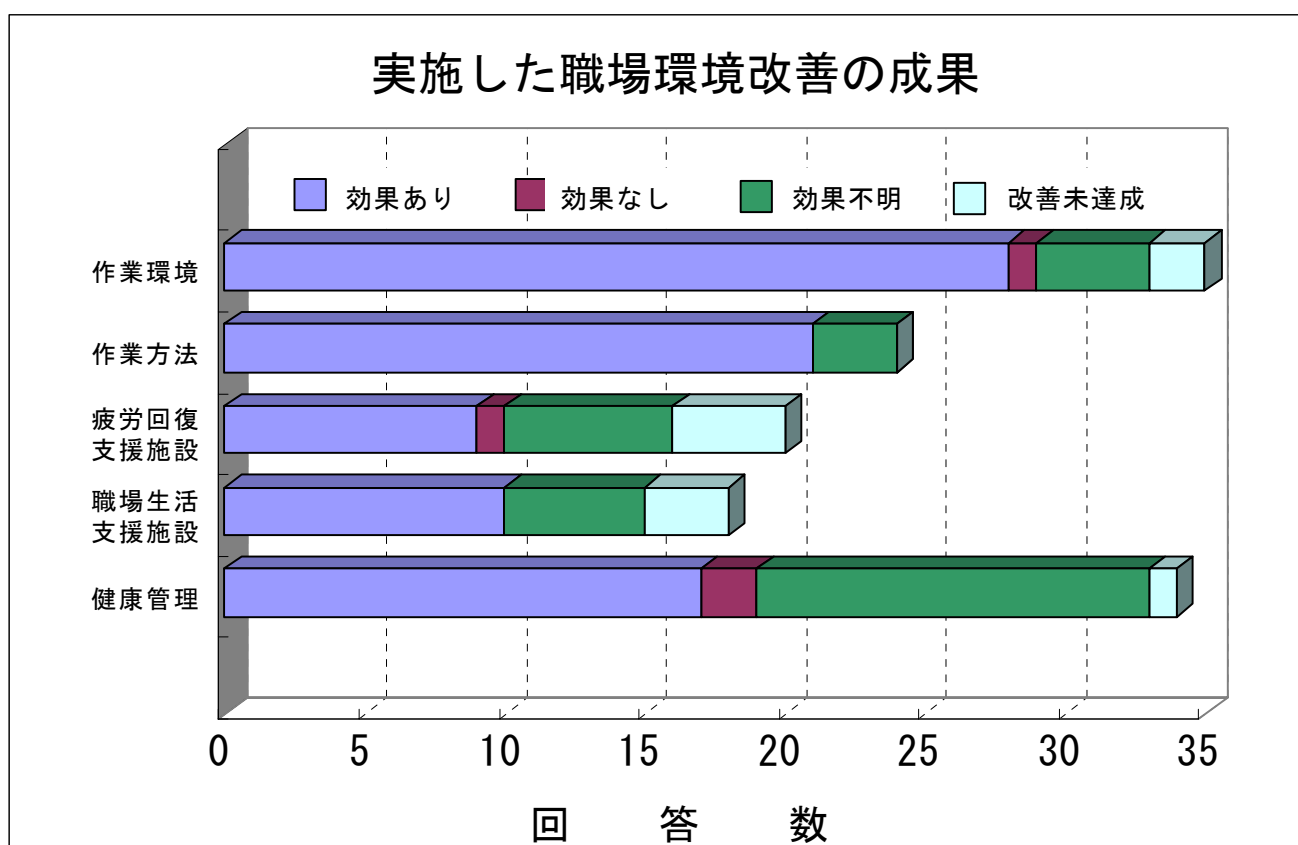


初年度実施した企業実態調査において、「最も必要と考えている職場環境の改善」についての設問があったがその回答(※1参考)と今回の回答を対比してみると、各組合員の努力がうかがえる。

どの設問においても、初年度必要と考えている項目の回答数より今回実施したとする項目の回答数が上回っている数字になっている。各事業所が職場環境の改善に努力したとの結果となっている。

2. 貴社が実施した職場環境の改善の成果についてお伺いします。4つの項目のいずれかに○印を付けてください。(実施していない改善事項は未記入のままで結構です。)

	効果あり	効果なし	効果は不明	改善が未達成
作業環境の改善	28	1	4	2
作業方法の改善	21	0	3	0
疲労回復支援施設の改善	9	1	6	4
職場生活支援施設の改善	10	0	5	3
健康管理の改善	17	2	14	1

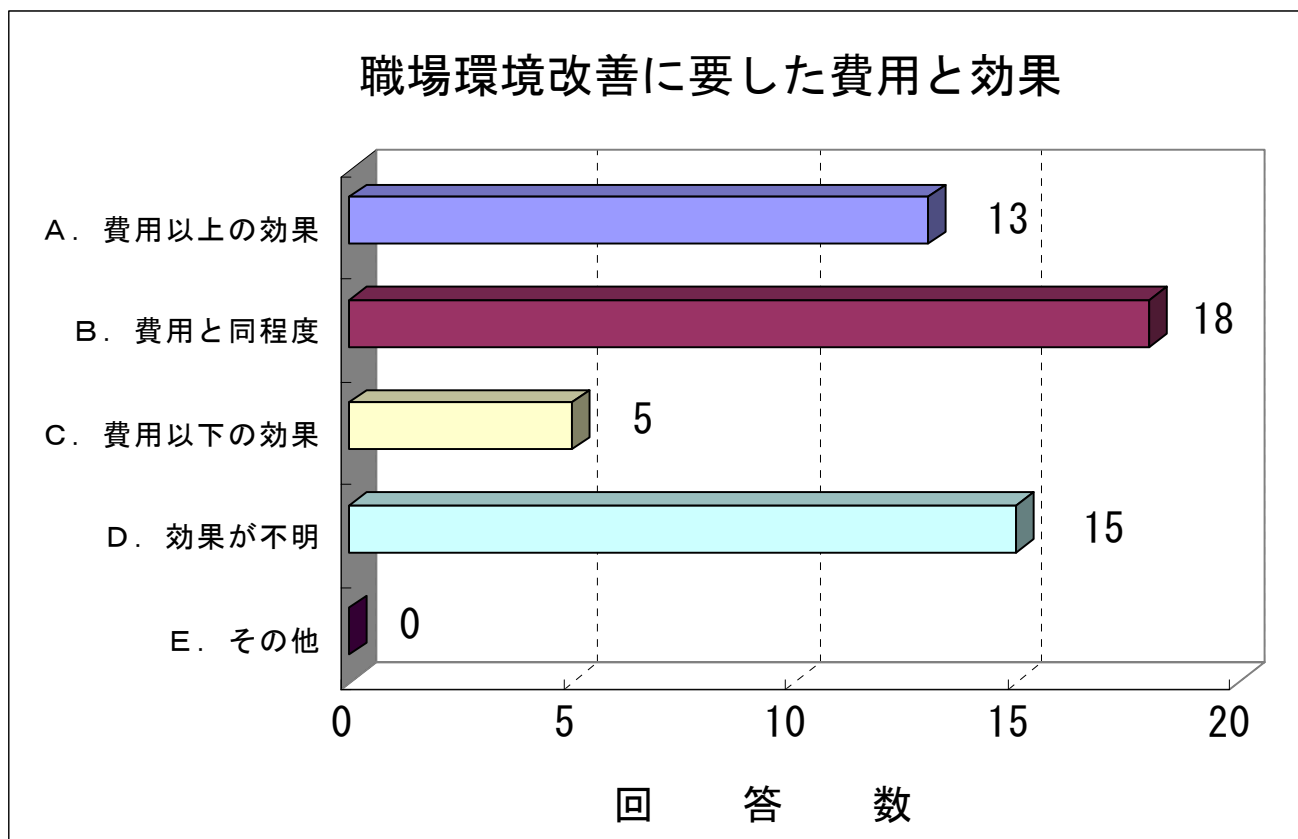


疲労回復支援施設の改善や健康管理の改善といった、メンタル面を含めた部分のあるものについては、その成果が顕著にあらわれるものではないだけに、「効果は不明」と回答を寄せられた事業所がやや多いのも当然でしょう。

長期的に継続して改善に取り組めば、当然効果が現れてくるものです。欠勤が少なくなる、人間関係での悩みが少なくなる、労働災害の減少、定着率の向上といった事象として現れてくるものと考えられます。

3. 職場環境の改善に要した費用とその効果について○印を付けてください。

A. 費用以上の効果があった。	13
B. 費用と同程度の効果があった。	18
C. 費用以下の効果であった。	5
D. 効果が不明である。	15
E. その他（具体的に記入して下さい）	0



この設問についても、初年度の企業実態調査において、職場環境の改善で最も問題なのは「資金不足」と回答を寄せられた企業が圧倒的に多かったが、費用対効果を考えるとき、事業主の考え方として投資額に見合う効果のレベルがどの辺にあるのかによって回答内容が違ってくるはずだ。

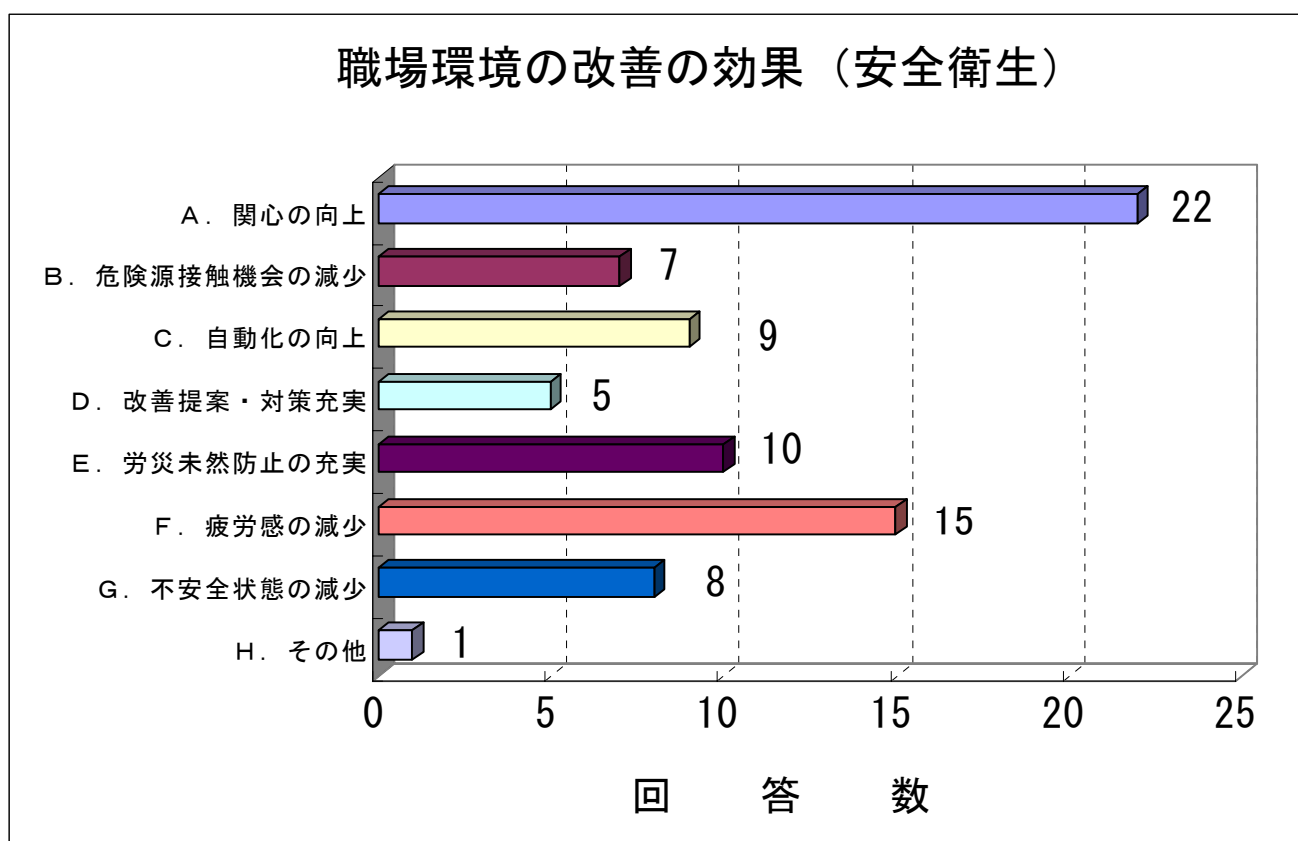
回答が難しかったと思われそうですが、AおよびBと回答された事業所が多かったのは、結構なことだ。

お金のかからない職場環境の改善(挨拶運動や職場での懇談会、禁煙の励行等)への取り組みもあることに注意し、進めていきたいものだ。

4. 職場環境の改善が効果があったと評価できる下の具体的項目（安全衛生に関するもの）に○印を付けてください。（複数回答可）

A. 安全衛生に対する関心の向上。	22
B. 危険源への接触機会の減少。	7
C. 自動化の向上。	9
D. 改善への提案・対策の充実。	5
E. 労災未然防止の充実。	10
F. 職場での疲労感の減少。	15
G. 職場の不安全状態の減少。	8
H. その他（具体的に記入して下さい） ※1	1

※1 休憩室での禁煙



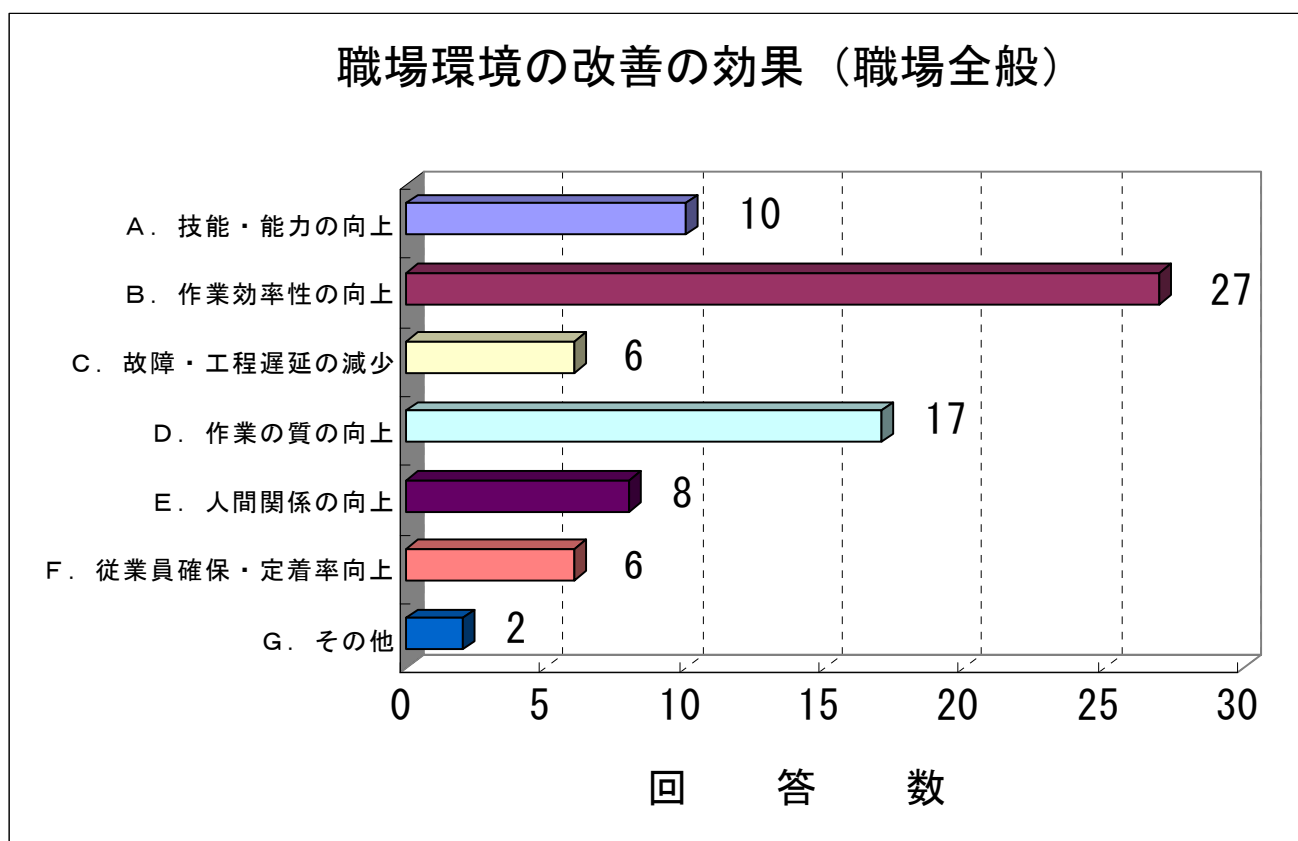
どの項目も相互に関連していますが、安全衛生面については、やはり従業員各自の安全衛生に対する意識の向上が第一でしょう。自動化の向上は、危険源への接触機会の減少や疲労感の減少となり、労災未然防止の充実へとつながります。

Dの「改善への提案・対策の充実」への回答が増えてくれば、さらに1段高いレベルに進んだとよろこんでいいでしょう。

5. 職場環境の改善が効果があったと評価できる下の具体的項目（職場全般に関するもの）に○印を付けてください。（複数回答可）

A. 従業員の技能・能力の向上。	10
B. 作業の効率性の向上。	27
C. 故障・工程遅延の減少。	6
D. 作業の質の向上。	17
E. 職場の人間関係の向上。	8
F. 従業員の確保・定着率の向上。	6
G. その他（具体的に記入して下さい） ※1	2

※1 健康管理上、良い結果につながった
災害発生の減少（安全衛生意識することによって）

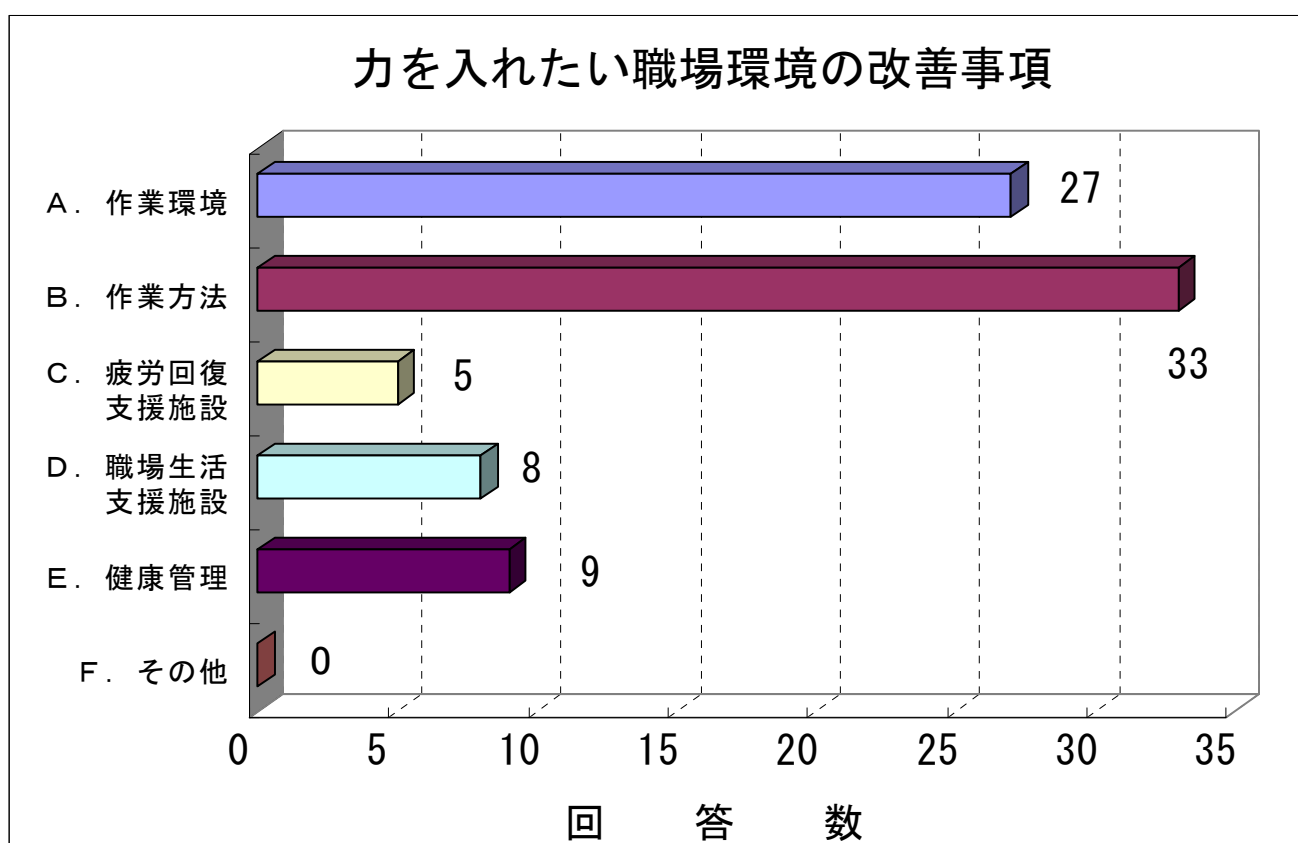


過去の調査結果からみて、3Kの解消と納期の厳守や品質の向上が課題でありましたが、前問の回答とあわせてみると、作業効率性の向上、作業の質の向上、従業員の技能・能力の向上がみとめられ、安全衛生に対する意識の向上もみとめられるとの結果で、3年間の事業の効果が現れてきているのだと思われます。

必ず受注量の増大につながり、従業員の確保・定着率の向上といった人材面の確保にも良い結果が出てくるものと考えられます。

6. 貴社が今後も力を入れたい職場環境の改善事項に○印を付けてください。

A. 作業環境の改善。(暑さ・寒さ、照度、ほこり、騒音等の改善)	27
B. 作業方法の改善。(自動化による作業負担軽減、緊張緩和、作業姿勢等の改善)	33
C. 疲労回復支援施設の改善。(相談室、休憩室、シャワー室等)	5
D. 職場生活支援施設の改善。(洗面所、トイレ、更衣室、食堂、給湯設備、談話室等)	8
E. 健康管理の改善。(定期健康診断、労働衛生教育等)	9
F. その他(具体的に記入して下さい)	0

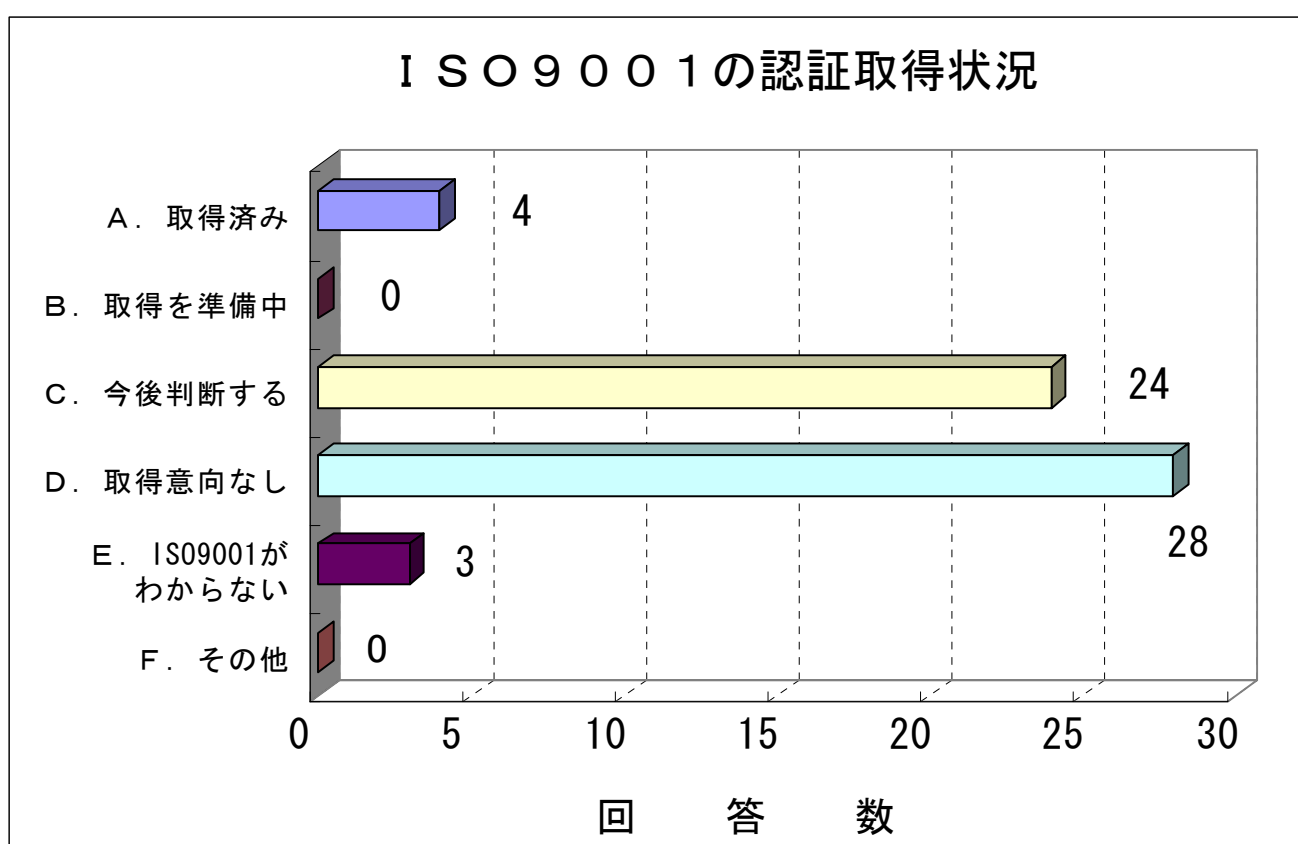


今後は、作業環境の改善は引き続き重要視しながらも、作業方法の改善を最重要課題として取り組んでいきたいとの回答結果となっています。素材や工法の変化、高齢化への流れ等に対する対応としては、当然のことでしょう。

働きやすい職場を作り上げることは、事業を継続している限り終わることのない課題です。自社の求める人材を確保するために、3年間の事業をステップとして、引き続き改善に力を注ぐことが大切です。組合全体でも努力していきましょう。

7. ISO9001(品質管理・保証の国際規格)の認証取得状況についてお伺いします。

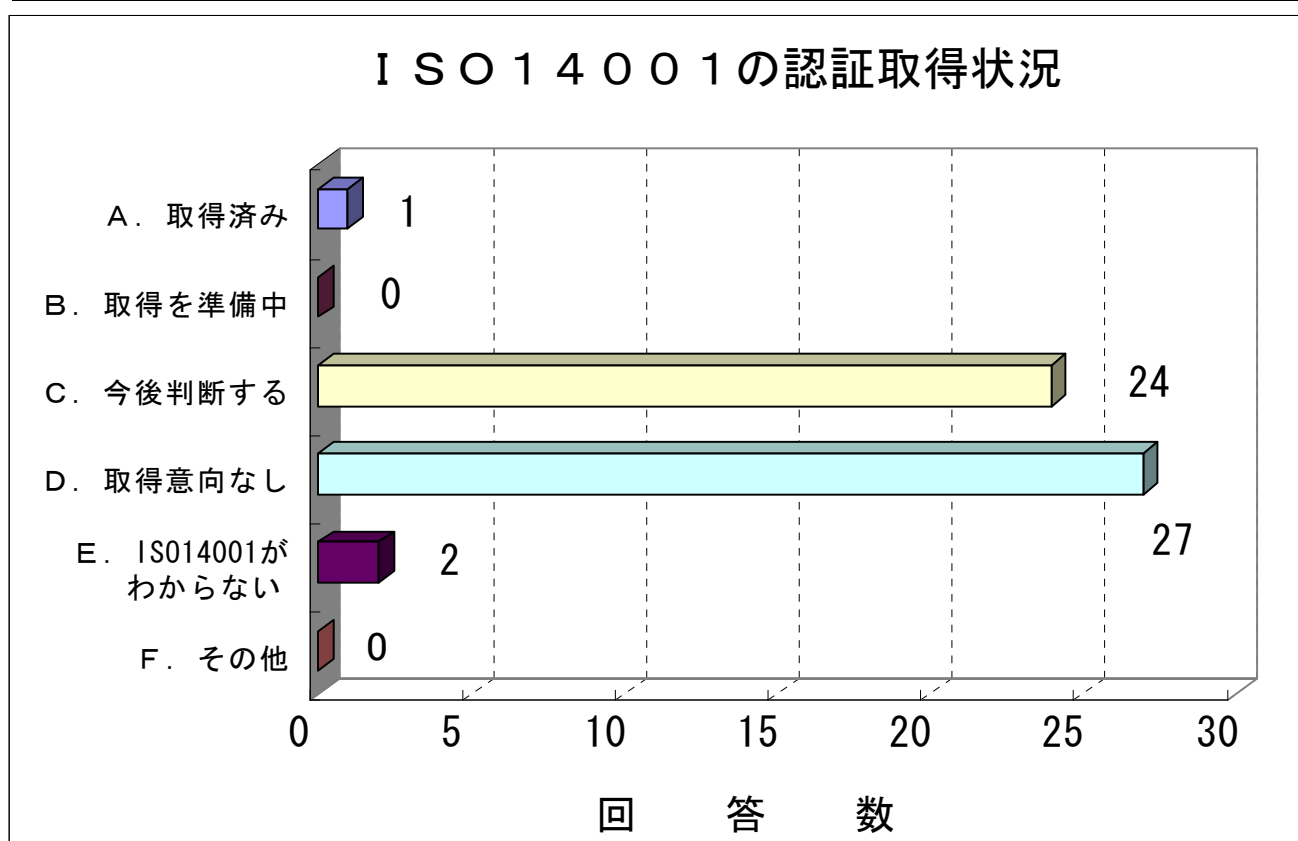
A. 取得済みである。	4
B. 取得を準備中。または、将来取得したい。	0
C. 今後の状況を見て取得を判断する。	24
D. 取得の意向はない。	28
E. ISO9001が何であるのかよくわからない。	3
F. その他(具体的に記入して下さい)	0



コメントは次頁(9/10)に併記します。

8. ISO14001（環境に対する経営方針の国際規格）の認証取得状況についてお伺いします。

A. 取得済みである。	1
B. 取得を準備中。または、将来取得したい。	0
C. 今後の状況を見て取得を判断する。	24
D. 取得の意向はない。	27
E. ISO14001が何であるのかよくわからない。	2
F. その他（具体的に記入して下さい）	0



ISO9001（品質管理・保証の国際規格）とISO14001（環境に対する経営方針の国際規格）については、当組合の事業所では認証取得されている事業所が、数社との結果です。国際化した企業運営は行っていないとか、JIS規格やTQCで事業を行ってきたとか、環境問題には十分配慮してきているとか、事業所によりいろいろな意見があると思われます。

団塊の世代の大量退職による技術の伝承への危惧、品質管理や環境管理面における不安、競争力の強化といった課題を解消するためにもISOの認証取得に取り組むのは大切なことと思われる。もちろん大事なのは認証取得ではなく、それを維持していく努力なのですが。マニュアル化を推進していくことは大切なことです。

9. その他、人材確保推進事業についてのご意見、要望があれば自由にご記入ください。

①環境改善を心がけても、なかなかうまくいってない状態です。人材確保を推進して学校廻りをしても、物作りに興味のある人が少ないように思われます。我社は縁故が3名、ハローワーク2名、その他が1名です。外人を今、人材会社に頼み中です。外工事の要員が全くいない。

②ハローワークへ募集をかけていますが若い人材がないのが現状です。ハローワーク以外で募集できる所があれば教えてください。